

亀田東小学校



500年の歴史ある地域! 迷路のような道・水路

袋津地域は500年の歴史をもつ地域で、当時から集落が形成されてきました。地形に沿ってできた道は、当時の「歩き」生活を主体に、迷路のように形成されています。当時のままの道が残し、今なおその道を中心に生活が営まれています。

江戸時代末期から続く袋津祭り! 豊作と機織りの景気を祈って

手作りの牡丹や桜の造花で美しく飾った6基の灯笼を、若者たちが威勢よく担ぎます。灯笼組は、岡山、向山、砂岡、池の山、仲浦向、都町の6つの地区で構成されています。40~50名の若者が一台の灯笼を担ぎ、木遣りを歌いながら神社に向かって練り歩き、他の灯笼と出会うと勇ましさを誇示するように激しくぶつかり合います。最後に、伊夜日子神社に納めます。喧嘩灯笼とも言われています。



角力組 来校!



【峠道かせの小道】

行こうかな? 戻ろうかなあ? こんなせまい小道じゃあ、車が入れないよー。

みんなで一列に歩いて、伊夜日子神社へ向かいました。



【江戸時代から続く伊夜日子神社】

ガイドボランティアさんと伊夜日子神社へ行きました。伊夜日子神社が、江戸時代に造られたことを知り、びっくり!! 神社を大切に守り続けている人がいて、伊夜日子神社を誇りに思う地域なんだなあ。



【広島島の厳島神社と同じ鳥居】

有名な厳島神社と同じなんだ。すごい!! (四脚の椎杭柱を持つ両部鳥居です。)

【袋津再発見】

わたしたちのまだ知らなかったことが出ているよ。

お店を開いて、地域を盛り上げているね。



【さらなる追求袋津探検】

袋津探検のテーマは、「道」、「水路」、「祭り」の3つにできるね。調べるのが、今から楽しみだなあ。

何にする? ぼくは、祭りがいいな。



さらなる探検活動 水コース、道コース、祭りコースの学習活動

私たちは、袋津の探検や歴史調べをとおして、先人の思いや苦労に思いをはせ、袋津で営まれる生活に目を向けました。地域を誇りに思い次代につなぐ大切さを実感しました。

水コース(金魚売り)



【金魚売り】

「袋津」という地名は、文字通り袋のような地形の湾に面した港だったから生まれたと言われています。

水が豊富にあり、金魚売りを生業にしているお店が、3軒、池を持つ店が2軒あります。

道コース(板塀・土蔵・竹林)



【板塀・土蔵】

袋津を歩いていると、あちこちで板塀や土蔵を見かけるね。板塀は建物を守るためかなあ。土蔵は大切なものを保存する場所だよな。

【竹林】

竹林も見えるよ。砂崩れを抑えるためだって。

祭りコース(木遣り)



【木遣り】

ゲストティーチャーから袋津祭りで歌う「木遣り」を披露していただきました。代表児童も「木遣り」に挑戦!! ヤートコセイヨイヤラナー、アリャリャガ、ドッコイ、ヨーイトコ、ヨーイトコナーが楽しいけど難しいなあ。

● 子どもの声 ●

【袋津探検をとおして】



袋津祭りの歴史を調べてみて、資料を探そうが大変でしたが、いろいろなことが分かってよかったです。もっと袋津祭りの歴史を調べてみたいくなりました。



袋津は、昔、近くに海があったことに驚きました。地形のことに興味があるので、他の所も調べてみたいです。楽しみです。

【その他の活動(亀田橋)をとおして】



ゲストティーチャーから、総くりの仕方を教えてもらいました。昔の人は、総くりをして苦労をしていたことが分かりました。和路を大切に、守り続けていきたいと思いました。

